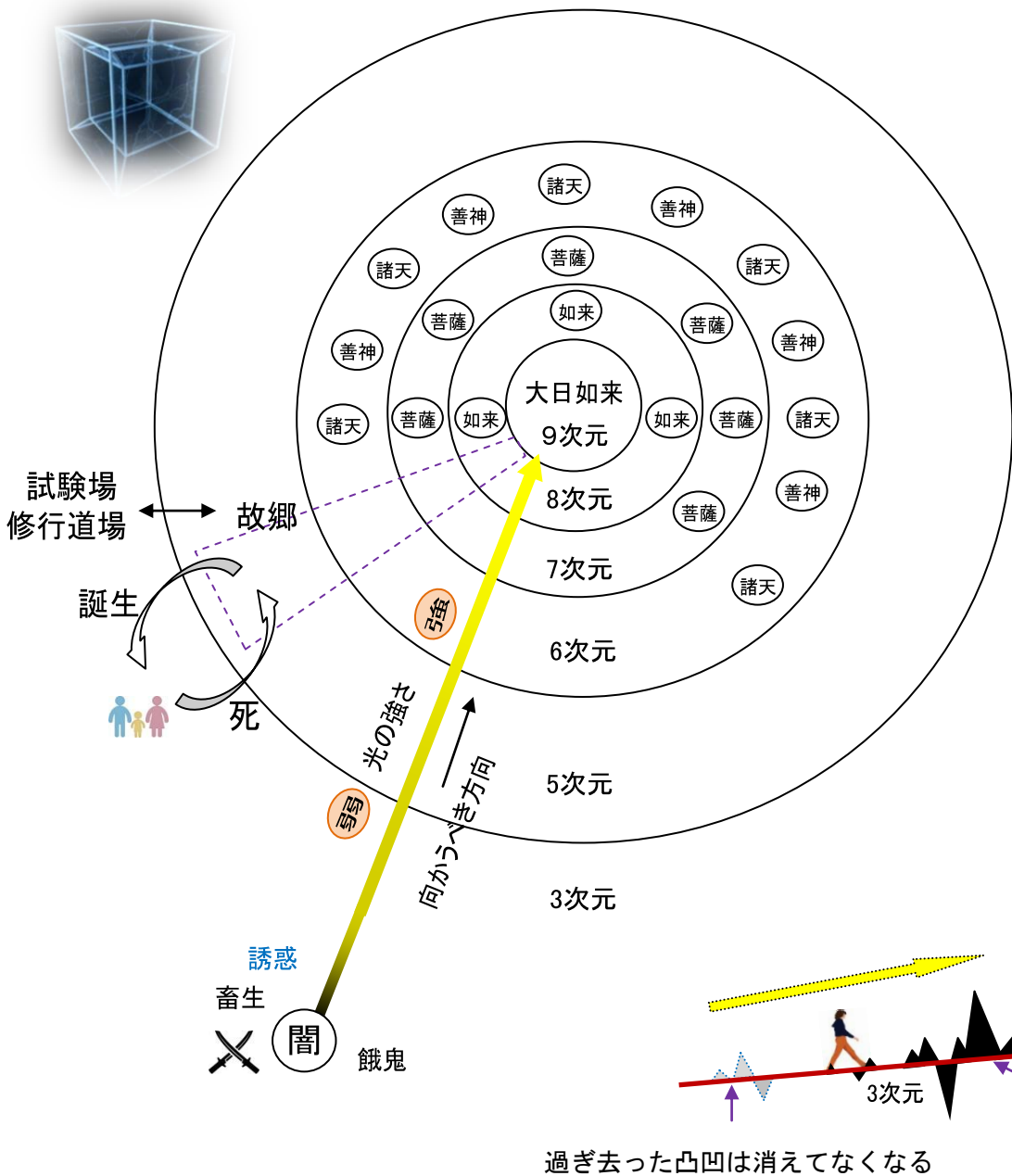


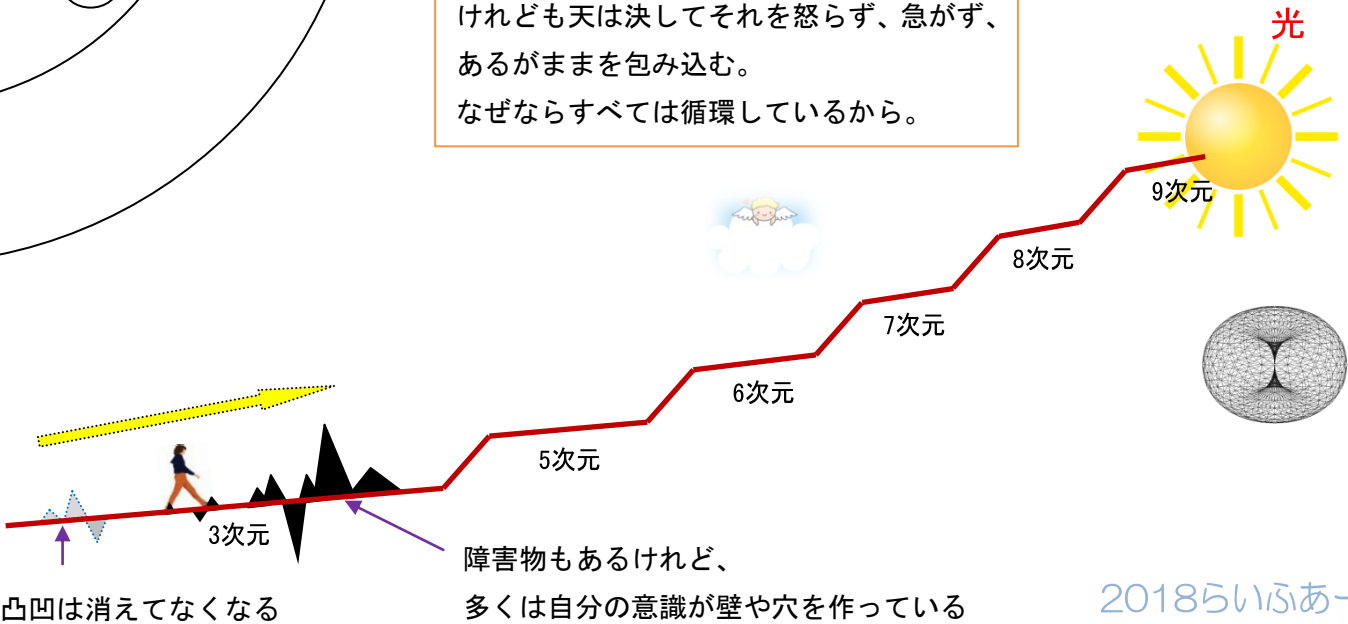
次元構造論Ⅱ ～我々はどこからやって来て、どこへ向かうのか～



俺たちみんな
一人ひとりが
神の子
愛の子
宇宙の子
光に向かって
歩いて行こう！

本来は光に向かって歩いて行くこと。
けれどもみんなそれとは分からずに
闇に足を引っ張られ、
障がい物に(行く手を)阻まれ…
迷っている。

けれども天は決してそれを怒らず、急がず、
あるがままを包み込む。
なぜならすべては循環しているから。



過ぎ去った凸凹は消えてなくなる

障害物もあるけれど、
多くは自分の意識が壁や穴を作っている